

計画事業番号	00353	事務事業名	コミュニティ・スクール推進事業 (旧 コミュニティ・スクールの導入促進に関する調査研究事業)	担当部署	教育部学校教育課	電話	891
--------	-------	-------	---	------	----------	----	-----

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5				
事務事業開始年度	平成24年度	個別計画等	北広島市教育基本計画				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章)	人と文化を育むまち
	(第 2 節)	信頼され、魅力ある学校づくりの推進
	(施策 1)	開かれた学校づくりの推進
2 対象	各小中学校	
3 目的と内容	平成24年度から文部科学省の委託を受け地域に開かれた学校づくりを進めるため、モデルケースとして西部地区で行なっているコミュニティ・スクールを、学校と保護者、地域が情報を共有し、子どもや学校の課題の理解を深め、共に解決していくことで、未来を担う子ども達の豊かな成長につなげることのできる地域活性化に必要な不可欠なツールとして、調査研究事業から推進事業として他中学校区に広げていく。	
4 実施内容 (手段)	27年度まで	西部小学校、西部中学校を学校運営協議会設置校として指定(平成25年5月)。両校の運営協議会からなる「西部コミュニティスクール委員会」において、地域の中核である学校に家庭、地域が双方向にかかわることにより、学校だけではなく地域全体が活性化することを目的とした活動を展開。
	28年度	前年度までの活動を継続することに加え、全国CS研究大会(秋田県)に参加し、他市町村の取組み等の情報交流を深め、「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム(北海道会場:札幌市)における実践発表を通して、西部コミュニティ・スクールの取組みを発信し、コミュニティ・スクールの普及に向けた活動を展開する。

【事業の計画・実績】

平成27年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度
計画	実績	計画	計画	計画
○学校運営協議会運営費(委員報酬・会議消耗品) ○講師による講演会(講師謝礼) ○コミュニティ・スクール研究会及び研修費	○学校運営協議会運営費(委員報酬・会議消耗品) ○他市町村視察受入対応 ○地域での農業体験 ○合同防災訓練 ○全国CS研究大会への代表者参加	○学校運営協議会運営費(委員報酬・会議消耗品) ○全国CS研究大会への代表者参加 ○全国フォーラムへの代表者参加 ○他中学校区候補地域の検討(1中学校区)	○学校運営協議会運営費(委員報酬・会議消耗品) ○講師による講演会(講師謝礼) ○コミュニティ・スクール研究会及び研修 ○他中学校区準備検討委員会の開催(1中学校区)	○学校運営協議会運営費(委員報酬・会議消耗品) ○講師による講演会(講師謝礼) ○コミュニティ・スクール研究会及び研修 ○他中学校区学校運営協議会の指定(1中学校区)

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成29年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。	
1次評価	現状継続	国はコミュニティスクール指定校の拡大を推奨しており、今後、西部地区での実績を評価・分析し、他地域への拡大の可能性等について検討していく。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額、当初予算額又は推進計画額			378	524	934	837
事業額	直接事業費	国支出金	0	174	0	0
		道支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他特財	0	0	0	0
		一般財源	378	350	934	837
		① 合計	378	524	934	837
	人件費	② 人数(年間)	0.10	0.10	0.10	0.10
		③ 1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
		④ =②×③	900	900	900	900
		総事業費①+④	1,278	1,424	1,834	1,737

【評価指標】

指標名		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	①コミュニティスクール委員会開催回数	回	3	3	3	3
	②					
	③					
	④					
成果指標	① 委員会開催率	%	100	100	100	100
	【指標の定義(算式等)】		100			
	②					
	【指標の定義(算式等)】					
	③					
	【指標の定義(算式等)】					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	地方創生の取組みとも合致し、子育て環境の整備のみならず、地域の活性化につながることから推進していく必要がある。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	学校・家庭・地域が協働して子供たちを育む開かれた学校づくりとして非常に有効である。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	西部地区での取組みから、課題や実施方法を検証し、他地区での取組みに際しスムーズな運営を行うことが期待できる。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	地区の学校に対する思いや高い意識から、運営体制づくりや各事業が効率的に実施されている。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--